



## ふきのとう 文庫だより

昭和48年1月13日第三種郵便物承認

HSK通巻番号604号

発行 令和4年7月10日

毎月10日発行 一部100円

編集 〒060-0006

札幌市中央区北6条西12丁目8番3

公益財団法人ふきのとう文庫

電話 (011) 222-4839

FAX (011) 222-4800

発行人 北海道障害者団体定期刊行物協会

細川久美子

### 安定的事務局づくりこそが急務

公益財団法人ふきのとう文庫 代表理事 高倉 嗣昌

一向に終息の先が見えないコロナ禍の下でいろいろな方が「文庫の運営は大変でしょう」とのご心配の言葉をかけて下さいます。

当文庫の活動面は「緊急事態宣言」の影響を直接に受けましたが、ディスタンスで多目的ホールでのイベントの人数制限以外は、順調に進行できております。これは多くのボランティアの方々の活動継続への熱意の賜物であり、深く謝意を表するところです。

平素百四十人近いボランティアが、それぞれの領域で活動して下さっておりますが、その領域を見ると濃淡があり、ボランティアのお力のみでは、バランスのある活動や運営を継続することが困難です。

除雪に代表される力仕事などは、手薄になりがちな領域として見えやすいのですが、助成金等の申請書類づくり、その受領報告などのデスクワーク、公益財団法人として監督官庁等への出頭報告、監査等の対応など、直接目に見えない面が、実は欠落しがちな点としてクローズアップして来ております。

こうした事務にあたってくれる人材が手薄であり、ほんの少数の人にその負担が来て大変になり、それ故に敬遠してしまう人が多くなる傾向が強いというマイナスのスパイラルに陥りつつあるのです。定常的な実働部隊づくりこそ急務なのです。

これの克服は、ボランティアに頼るだけでは無理で、報酬を伴う事務職員を新たに雇用し、その領域を職務としてカバーして行くことしかないと思われまします。

これまでにも、パート事務職員と業務執行理事の二人でなんとかやって来たものを、一人は常勤職員化しましたが、事務内容は広がり量は増えるばかりで、構造的と

言える事務部門の人手不足を抜本的に改善して行かなくては、活動継続に大きな影響が出て来て行き詰まりが来ってしまうでしょう。

報酬を伴う事務職員を採用するには、これまでに加えて年間少なくとも二百万の資金が必要で、それに見合う増収の道は、目下のところ見通ができていません。

これまでにも掲げて来ましたが個人・法人賛助会員拡大、大口の寄附のお願いはもとより関連業務連携、業務受託等も進めてまいりますが、局面を開拓するレベルまで到達するのは容易ではなく時間も要します。更にはこれまでの枠を超えた収益事業等に挑むことで収入増を図って行かなければなりません。

しかし、それに取り組んでくれる一定の人材や組織が不可欠です。

結局、局面を開拓するには人的面が前提であり、それに見合う経済的手当がその前提となります。前提の前提があるのです。

その前提をつくるには、アイディアに富んだ若い力が不可欠で、それらの人々によって新しい方法、領域への切り込みに大きく期待することになります。

ともかくも、少なからぬ赤字覚悟で正規の事務職員の増員に踏み出すことを考えねばなりません。そうすると、この三、四年中にこの経済的裏付けが得られなければ、全体の活動の継続困難に直面しますので、大きな力が必要で、不転換の決意が必要です。

理事一同力を合わせて頑張つてまいりますので、当文庫を知る多くの方々の情報やお知恵をいただくことを含めて、物心両面にわたる一層のご支援を切にお願い申し上げます。

# 令和三年度 事業・決算報告

## 事業報告

今年度の子ども図書館の開館は新型コロナウイルス感染症拡大のため一二七日間となり令和二年度

一六六日より三十九日間の減となりました。しかし一日当たりの入館者数は三九人と前年を七人

程度上回っています。登録者数も増えていますし、貸出件数もさほど減っていません。外出を自粛し

ている人たちが多く事で、借りられるときに多くの本を借りておこうという現象が起こったかと思

います。

布の本や拡大写本の制作は前年を下回っています。布の本の貸し出しも中止していたところでは

一昨年の十一月で開設五十周年となったふきのとう文庫ですが、記念行事も行えず、昨年の十一

月に発行した文庫日より一二五号を五十周年記念号として、一応の区切りをつけたところです。

### 一、子ども図書館の運営

①開館日数 一二七日

②入館者数 四、九四三人

(一日当たり三九人)

③登録者数 四、五三七名

(新規登録者 三〇五名)

④貸出し件数 図書

一八、六一三冊

(紙芝居 三三九冊を含む)

拡大写本 一五七冊

⑤図書の拡充 新規購入 一三九冊

紙芝居 〇冊

寄贈図書 一二五冊

### 二、病院文庫の拡充

北大病院文庫 〇冊

KKR(産科) 〇冊

おのだ眼科 八冊

天使病院 六冊

市立病院 〇冊

### 三、布の本の製作・貸出

①製作 布の本 一四六冊

材料セット 二〇七セット

遊具 二二種類 二五二点

②貸出し 布の本 個人貸し出しは中止

③販売 テキスト 八冊

材料セット 二二二セット

布の本 二一四冊

遊具 一三四点

④講習会・展示会

新型コロナウイルス感染予防のため中止

### 四、拡大写本の製作

①製本 児童図書・絵本 一二八冊

②拡大写本(寄贈)

配本先 中央小学校 ひとみの教室 三一冊

札幌視覚支援学校 二五冊

計 五六冊

③貸出し 大阪 弱視児童 山本君 三一冊

大阪 弱視児童 辛島君 一一冊

札幌 弱視幼児 六冊

計 四八冊

### 五、機関誌の発行

七月、十一月、三月に三回、各二、五〇〇部ずつ発行

### 六、子ども催事

うたう会、手づくりあそびの定例会は中止し、

人形劇や世界の楽器展も取りやめとなりました

が、「楽器で楽しもう」や音楽家井上美豊子さん

との集まりをもつことができ、年間十四回の催事

が開催されました。参加人数は一九一人になりま

## 財産目録

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで (単位 円)

科 目	金 額
I. 資産の部	
1. 流動資産	
現金	105,187
普通預金	3,175,722
振替貯金	3,234,592
期末材料棚卸高	
売掛金	139,260
流動資産合計	6,654,761
2. 固定資産	
①基本財産	133,464,729
②その他固定資産	937,860
固定資産合計	134,402,589
資産合計	141,057,350
II. 負債の部	
未払い金	51,511
仮受金	0
預り金	24,728
負債合計	76,239
III. 正味財産の部	
正味財産	140,981,111
負債及び正味財産合計	141,057,350

## 収支実績表

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで (単位 千円)

科 目	金 額			
	予 算	決 算	前期決算	前前年同期決算
I. 収入の部				
賛助会費	2,600	2,194	2,557	2,272
寄付金等	3,000	2,801	3,541	2,801
助成金	1,500	2,050	1,900	1,500
事業収入	1,600	1,819	2,036	2,459
雑収入	0	0	0	1
合 計	8,700	8,864	10,034	9,033
II. 支出の部				
管理費	5,830	5,486	5,676	6,497
事業費	3,100	2,729	2,963	2,511
合 計	8,930	8,215	8,639	9,008
収支差益	▲ 230	649	1,395	25

### 決算報告

した。

おはなし会

五回開催

五七人

楽器で楽しもう

三回開催

五八人

アコーディオン

二回開催

一九人

腹笑い会

一回開催

一四人

井上美豊子と楽しもう

三回

四三人

今期も令和二年来の新型コロナウイルス感染防止で、活動が思うように行かず年間を通じて布の本の作成等も縮小されてしまいました。大口の寄付もあり予算を越える収入となりました。一方コロナの影響で子ども図書館の閉館を余儀なくされましたが、経常経費はあまり減っていません。

布の本を製作し、日本全国の公的図書館等に販売し、それを事業収入としていますが、一八〇万円ほどの収入となり、かなり作成に携るボランティアさんにはご苦労をかけたと思います。その結果、収支差し引きは六五万円ほどの黒字となりました。予算策定時には、苦戦が予測されていましたが、上々の決算と言えるでしょう。

財産目録では、図書を資産外備品としたため、総資産の額が二千万円ほど落ちておりますが、資産の減があったわけではありません。これは北海道に対して毎年行っている事業・決算報告に合わ

せたものです。新規の固定資産の増加はありません。現在の施設は西野平和から二〇一四年に移転・新築して再スタートしましたが、今後、大きな保守も考えられます。現在の所、維持管理をしっかりして、新たな整備費用を発生させないように考えて行きます。



子どものためのもよおし

### 予定表

2022年度下半期

- |                  |             |
|------------------|-------------|
| 10月16日(日)13時30分～ | おはなし会       |
| 23日(日)13時30分～    | 手づくり遊び      |
| 11月6日(日)13時30分～  | 小学生のための語りの会 |
| 20日(日)13時30分～    | おはなし会       |
| 27日(日)13時30分～    | 井上美豊子と楽しもう! |
| 12月11日(日)13時30分～ | うたう会        |
| 18日(日)13時30分～    | おはなし会       |
| 1月15日(日)13時30分～  | おはなし会       |
| 29日(日)13時30分～    | 手づくり遊び      |
| 2月12日(日)13時30分～  | うたう会        |
| 19日(日)13時30分～    | おはなし会       |
| 3月5日(日)13時30分～   | 手づくり遊び      |
| 12日(日)13時30分～    | ヴァイオリンで楽しもう |
| 19日(日)13時30分～    | おはなし会       |
| 26日(日)13時30分～    | 井上美豊子と楽しもう! |



## 新理事の紹介と挨拶

令和四年五月二十九日に開催された評議員会にて新たに理事に選任されました二名の理事を紹介いたします。これまで理事の平均年齢が七十歳を越えていましたが、この新理事の就任でぐっと若返りが図れ、運営の方向も改革され、よりよいふきのとう文庫を目指せるものと考えています。

### 理事 宝本 英明



私自身は、これまでも評議員として公益財団法人ふきのとう文庫の活動に関わって参りました。大きく立場は変わるわけではありませんが、これからは理事として運営に関わることとなります。引き続き、よろしくお願い申し上げます。

札幌市は、障がいのある人もない人も、その命の尊厳が当然に保証され、市民誰もが互いに人格と個性を尊重し支え合う共生社会の実現を目指しています。国においては、読書は教養や娯楽を得る手段のみならず、教育や就労を支える重要な活動であり、障がいの有無にかかわらず全ての国民が読書することのできる環境を整備していくことが必要であるとして「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」(読書バリアフリー法)が成立し、令和元年六月に施行されました。本法律に基づき、障がいの有無に関わらず、全ての国民が等しく読書を通じて文字・活字文化の恵沢を享受することができるとして、視覚障害者等の読書環境の整備を総合的かつ計画的に推進しているところです。

ふきのとう文庫の創設者である小林静江氏は「人間は成長し発達し続けるものです。どんなに重い障がいの子どもにも発達があり、文化を享受

する権利があります。外遊びの楽しみも閉ざされ、身体的にも教育・文化面でも不利な条件にある病弱児や障がいをもつ子どもに、本の喜びを知ってほしい、図書館は進んで利用の道を開いてほしい、病院には患者用図書室を設けることを制度化してほしいと願って、私たちふきのとう文庫グループは活動しております。」と話されておりました。こうした理念は、正に読書バリアフリー法の理念に通じるもので、ふきのとう文庫が法の制定以前から実践されてこられましたことに対し、改めまして敬意を表するところでございます。

令和二年からの二年間は新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大のため、札幌市の公共施設の運営方針に依るかたちで、ふきのとう文庫も休館を余儀なくされるなど、活動を制約されて参りました。今まで経験したことのない状況ではありましたが、新型コロナウイルス感染症もある程度落ち着き、以前の日常に戻りつつあります。今後は新たな生活様式も踏まえ、甚だ微力ではございますが、ふきのとう文庫の発展と障がい児教育の充実のために、専心努力する所存でございます。今後とも一層の御指導御鞭撻を賜りたく衷心よりお願い申し上げます。

### 理事 大友 健太



このたびの寄稿にあたり、私がつきのとう文庫へ関与させていただくこととなったきっかけや理事就任の経緯についてお伝えし、新任のご挨拶とさせていただきます。

私は、株式会社NERC(自然エネルギー研究センター)に所属して、主として自治体の自然エネルギー(地域資源)をベースにした地域づくりに関するコンサルをしておりますが、そうした活

動の中で新事業の立ち上げ等の経験もあり、平成二十四年(二〇一二年)にふきのとう文庫の移転のためのお手伝いをするようになりました。しかしながら、そもそもふきのとう文庫の取組をわかっていないものですから、まずは当時西区平和にあったふきのとう文庫図書館を訪ねて、活動や取組などを高倉理事長はじめ、ボランティアのみなさまからお話を伺いましたが、ふきのとう文庫の活動に、国や自治体から一切の補助金が充てられず、寄付金とボランティアの方々によって支えられていることにいたく感銘を受けたことを思い出します。

さて、私のふきのとう文庫との最初の出会いはこのようにしてはじまり、新たなふきのとう文庫図書館の完成と、そして、利用者も増えていることを耳にして安堵しておりました。その後、運営には関わることはなく、関係者のみなさまのご苦勞も知らずにおりましたが、昨年より、今後のふきのとう文庫の活動に関して相談を受け、十二月から運営会議にオブザーバーという形で参加しながら、ふきのとう文庫の現状について把握して参りました。高倉理事長からは、取り巻く社会環境も変化の中で、これまで通りの活動を継続することが困難になりつつあり、ふきのとう文庫も変わっていくかならない、新たなことにチャレンジすることが必要になってきているとの現状に対する危機感をお伺いし、私にできることは僅かばかりのことではありますが、新たなチャレンジということであれば、これまでの経験からお役に立てることもあるかもしれないと思い、理事をお引き受けすることを決意いたしました。

小林静江さんが困難に立ち向かいながら、「身体的にも教育・文化面でも不利な条件にある病弱児や障がいをもつ子どもに、本の喜びを知ってほしい」との純粋な思いからふきのとう文庫を創設され、そして、その理念は関係者のみなさまに受



け継がれてきました。この思いは、将来に渡って守られ大切にされていくことは間違いないでしょう。他方、新たな社会課題として子どもの貧困や虐待が顕在化し、さらには長引くコロナ禍や戦争報道による子どもの心の健康への影響が指摘されている現在、「すべての子どもたち」の情操を豊かにし、癒しの場を与えられるふきのとう文庫の存在価値はますます大きくなっていくことが期待されます。また、自然エネルギーの希求も、教育機会の平等性の希求も、経済合理性を優先してリスクや格差を容認するような社会を是正するという点においては、同質的な取組であると考えております。微力ではありますが、ふきのとう文庫のますますのご発展に貢献できるように尽力する所存ですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## ◆様々な支援を頂いて

### 助成金交付団体について

ふきのとう文庫を運営していく上で、欠かせない財源は、当団体の活動に理解を示し、応援してくれる賛助会員の皆さまや、寄付していただいている方々ですが、社会活動を支援してくださる団体からの助成金も大きな部分を担っています。ここでその団体の活動について紹介していこうと思います。

#### 一 共同募金助成金

赤い羽根共同募金で有名な共同募金は、戦後間もない昭和二十二（一九四七）年に、市民が主体の民間運動として始まりました。当初、戦後復興の一助として、被災した福祉施設を中心に支援が行われ、その後、法律に基づき、地域福祉の推進のために活用されてきました。

社会の変化のなか、共同募金は、誰もが住み慣

れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ。」として、取り組まれています。当文庫への助成の歴史は古く、昭和、平成、令和と続けて助成金を頂いています。

助成金の使途としては、絵本などの図書を購入費や布の本、拡大写本の製作費や子ども催事事業の開催の補助、年間三回発行のこの「ふきのとう文庫だより」作成費などに当てています。当図書館の本には赤い羽根のシンボルマークのステッカーが貼られているものも多く見受けられ、如何に長くたくさんさんの助成をしていただいているかが分かります。

当文庫への助成金としては、一番多い金額でこの補助なしではふきのとう文庫が成り立たなかったと言ってもオーバーではありません。

#### 二 道新福祉基金助成金

福祉分野の人材育成、まちおこし支援、社会奉

仕・ボランティア活動支援に交付される助成で、当文庫では、「通常の図書よりも手触りのやさしい布の本を製作し、心身障がい児等の生活や学習に寄与していきたい」という目的から布の本関連で申請しているものです。

#### 三 地域ささえあい助成

生協と生協以外の団体の協働を応援しようと出来た助成で令和三年度から頂いている助成金です。当文庫と生協が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることを目的に助成を受けています。本助成制度で、具体的にはコープさっぽろの施設で各所にあるトドックステーションにふきのとう子ども図書館の絵本や布の本を持ち込んで、なかなかふきのとう子ども図書館まで足を運べない人たちに本を読む楽しさを味わってもらうとするものです。このイベントの費用だけでなく、絵本の購入費などにも充てさせて貰っています。

#### 四 コープ地域福祉助成

コープさっぽろ社会福祉基金から、拡大写本の製作費のうち、用紙購入費やカラーコピーの使用料などに当てるための助成です。これも令和三年度から始めた助成金ですが、コープさっぽろとは上記の協働事業もやっていて、今後とも支援していただきたい団体です。

#### 五 その他

昨年度はこの他、北海道ろうきん（北海道労働金庫）から「つなぐプロジェクト寄付事業」として一七万五千円の寄付を頂いたところ。地域に貢献する活動を行う団体として認められたことが、寄付に繋がりました。

この他、定期的ではありませんが、日本全国で活動支援してくださる団体を探しては助成をお願いし続けている状況です。安定した文庫の運営を行う上で、更なる財源調達をしていかなければならないと考えています。

令和3年度助成金実績

(単位：円)

助成団体	助成金名	金 額
北海道共同募金会	共同募金助成金	1,400,000
北海道新聞社会福祉振興基金	道新福祉基金助成金	100,000
日本コープ共済生活協同組合連合会	地域ささえあい助成	450,000
コープさっぽろ社会福祉基金	コープ地域福祉助成	100,000
合 計		2,050,000

# 賛助費、寄附、寄贈ご芳名

ご支援ありがとうございました。

## 2022年3月以降賛助会費納入一覧

個人(274名(匿名1名))

青木アサミ	青木 美枝	安宅 仁志	安達 輝政	末永 範子	頭川 恵子	菅原 睦子	杉浦 正人
阿部 和男	阿部 園枝	阿部 登	飯尾 良瑛	杉崎 政明	杉下 清次	杉山 一夫	杉山 範子
飯田 孝雄	飯村 俊幸	五十嵐直子	石川 悦子	諏訪部千秋	関 寛	瀬山 春彦	須藤 純子
石川 一美	石川真知子	石黒富美子	石黒 英彦	高倉 新喜	高倉 聡子	高倉 聖哉	高倉実枝子
伊勢 成子	市川 大祐	稲垣 勲平	稲垣 智彦	高橋 光彦	宝本 昌紀	宝本 英明	宝本 博雄
井上せつ子	猪股久美子	井原恵美子	庵原 律子	宝本 陽子	田口 麻人	武井 昭也	武田 育子
井村 裕夫	上出麻希子	碓井 孝介	碓井トミ子	竹田久美子	竹田 義秋	館田 勝久	田仲 陽子
植竹 俊光	内田 和浩	運上 敏明	遠藤知恵子	谷川 松芳	谷口 透	谷村 和子	田野中房枝
大内 和子	大倉 聡子	大竹千鶴子	大塚 宏哉	土居 安子	筒浦 直子	常本 幸枝	出井 博之
大坪 幸治	大浪 幸子	大野 公子	岡田 智雄	板内 香次	友岡 規嗣	時任 顕正	戸坂 龍一
小川 基弘	奥野 和弘	押田 法明	小田嶋文彦	中川 李枝子	中里 祐子	中垣美智子	中川 富子
小田嶋雅子	小野 美穂	小野寺信子	小原 静香	中田 和代	長塚りえ子	中野 攻	中田こずえ
尾山 信行	御友 妙実	恩村 裕之	攪上 久子	中村 務	中村 美絵	中山 芳子	長野光甫子
角田 順子	葛西 結花	鍛冶紀美子	加藤 紀夫	西村 宏子	沼本 厚子	根子 香代	野口 光世
加藤 博己	金沢 幾子	金山 聖子	兜 賢一	野崎 美江	野島 聡	野田 龍一	橋場ゆきえ
鎌田 勇一	亀井 伸照	加森久美子	川口谷 正	長谷川 衛	畠山 昌子	花岡 麻子	羽磨 玉枝
切金 浩幸	菊井 淑子	北川 恭三	君島 道明	羽磨 洋平	馬場イシ子	濱崎 京子	林 孝子
木村 淳子	木村美知子	清國 祐二	久我 由美	林 七男	林下 拓子	東 恵子	檜垣 正志
工藤 剛治	熊谷 勝宏	栗岡 明子	栗原 博子	平川 千宏	平野 和男	平山 優子	廣澤 元彦
黒柳 俊雄	高下 圭一	合田 一道	河野 智美	廣田 充代	廣部 政勝	福井 爽人	福井 睦子
河野 浜子	古賀 裕久	國岡 信子	國澤 敏子	福島 敏幸	福島美恵子	福嶋 佳子	福田 都代
小島美津子	小竹 勝	後藤 正憲	小林美佐子	藤井 久恵	藤井 雅裕	藤沢 薫	藤田 宮子
小林 侑子	小松 徹	小柳 裕彦	小山 忠弘	藤森 武夫	古谷 次郎	方川 正弘	星野 フサ
近藤 龍夫	斎藤 聖子	斎藤 仁史	齋藤 寛	細山 公子	本多 慶子	前田貴美恵	前田 康行
斎藤 勝二	斎藤美年子	齊藤 洲男	堺 隆	昌川 吉子	増田 正	松尾 絵美	松木 宏司
堺 久子	坂井 淑子	櫻井 彩子	櫻井万里子	松本 範男	三浦 育子	三浦清一郎	三上 節子
桜庭 英明	佐々木敦子	佐々木静江	佐々木順子	水口 忠	溝口 啓子	三ツ井 稔	南向 円乗
佐々木扶美子	佐々木雅夫	佐藤 香	佐藤 靖範	宮崎 むつ	宮本 直子	向井 承子	村岡 樹
三國久美子	繁富よしえ	柴田喜代子	島 功二	村上さおり	村上 禮子	村雲佳代子	村田 照
島田小夜子	島田 紘	下村 愛	下村 笑子	村松 晶子	名和ワキエ	望月扶美子	森下 宏美
白戸 一秀	信田 暁	陣内 尚子	神内 紀子	森永美恵子	門馬 公正	安井真知子	山内 薫

山岸 健	山口 良子	山崎 高	山中 三知
山根しのぶ	山本みどり	山本 安雄	山本 好枝
横山 昌子	吉川 秀樹	吉田 育子	米澤 智子
渡辺 英子	渡邊 一弘	渡辺 功一	渡辺 英昭
和野 徳子			
団体(27団体)			
岩見沢友の会			
(株) 童心社			
(有) 雷屋			
アークスグループ労働組合連合			
きた矯正歯科・喜多宏明			
(株) スドウ建設・須藤時夫			
(株) ぬくもりの宿ふる川・古川善浩			
(株) 図書館ネットワークサービス			
(株) エス・アイザックス商会			
ダスキンスサーヴ100・小林寛			
(株) K&I			
東札幌眼科・合田千穂			
(株) 小川ホームサービス			
近藤工業(株)			
(株) 札幌管財公社			
北海道労働者福祉協議会			
わらべ			
おのだ眼科			
アゼリア産業(株) 代表取締役・渡邊一弘			
(株) 安藤敏郎建築設計事務所			
社会医療法人 天使病院			
けんぶち絵本の里を創ろう会			
リコージャパン(株)			
布の絵本・のんの			
札幌市西区社会福祉協議会			
(株) 太田ファーム・太田昌子			
一般社団法人とも育ちの森えぞりす			

## 2022年3月以降寄附金納入一覧

### 個人(12名)

久我 由美 谷村 和子 青沼 静子 村上 禮子  
工藤 良行 福島美恵子 小島美津子 飯村 俊幸  
宝本 博雄 小山内 恵 佐々木扶美子 川口谷 正

### 団体(6団体)

生活クラブ生活協同組合  
桑園第10町内会  
ネクスト・川波和芳  
こくみん共済coop北海道推進本部  
こくみん共済coop北海道・東北統括本部  
札幌シンフォニエッタ

## 2022年3月以降寄贈一覧

3月6日 童心社 絵本 2冊  
3月11日 学研プラス 児童書 1冊  
3月13日 学研プラス 児童書 2冊  
3月13日 第一生命保険(株) 消毒液 5本  
3月14日 童心社 絵本 1冊  
3月20日 童心社 絵本 1冊  
3月22日 吉野 愛美 バムとケロ人形 1冊  
3月30日 北海道森と緑の会 「木育の森カルタ」44選  
4月1日 学研プラス 児童書 2冊  
4月3日 宗像 友子 消毒液多数  
4月11日 川村 幸枝 スポンジ他多数  
4月17日 童心社 絵本 2冊  
4月25日 和野 徳子 絵本他 13冊  
5月17日 早勢 恵美 切手多数  
5月29日 福田 都代 絵本 13冊  
6月1日 斉藤 迪子 こども図鑑一式  
6月2日 童心社 絵本 1冊  
6月3日 童心社 児童書 1冊  
6月17日 学研プラス 児童書 1冊  
6月17日 童心社 絵本 1冊

### 行事一覧

6月24日 童心社 児童書 1冊  
6月26日 福田 都代 児童書 7冊  
3月4日 (ほっとたいむ) 絵本 6冊  
3月15日 運営会議・理事会  
3月18日 (ほっとたいむ)  
3月20日 おはなし会  
3月27日 井上美豊子と楽しもう  
4月1日 (ほっとたいむ)  
4月3日 ヴァイオリンで楽しもう  
4月10日 うたう会  
4月17日 おはなし会  
4月19日 運営会議  
5月1日 リトミック  
5月6日 (ほっとたいむ)  
5月8日 札幌シンフォニエッタ・弦楽四重奏  
5月17日 運営会議  
5月20日 (ほっとたいむ)  
5月22日 井上美豊子と楽しもう  
5月29日 評議員会  
6月3日 (ほっとたいむ)  
6月5日 リトミック  
6月10日 竹中工務店名古屋支店 3名視察  
6月12日 三菱倉庫 2名視察  
6月17日 うたう会  
6月19日 (ほっとたいむ)  
6月20日 おはなし会  
6月21日 札幌市立中央幼稚園・見学  
6月26日 運営会議  
6月28日 アンサンブル・フラテ 演奏会  
北海道札幌視覚支援学校・見学

## 新しい拡大写本できました

- ✿ マクドナルドさんのやさいアパート ジュディ・バレット 作
- ✿ もっと! そばかすイエシ (全2冊) ミリアム・プレスラー 作
- ✿ 手紙ーふたりの奇跡 (全2冊) 福田 隆浩 作
- ✿ せかいでいちばん大きなおも 二宮 由紀子 作
- ✿ もりのキャンプ ロザモンド・ドーアー 作
- ✿ 番ねすみのヤカちゃん リチャード・ウィルバー 作
- ✿ わにのはいた マーガレット・ドリアン 作

## 拡大写本の貸し出しについて

### 大きな字の本、あります

ふきのとう文庫では郵送での貸し出しをします。

視力が弱いけれど本が大好きなお子さんや本を読んでもたいいけれどふきのとう子ども図書館に来られない方。子どもから大人まで自宅でゆっくりご覧ください。

※ふきのとう文庫のホームページに貸し出しリストがあります。貸出期間は一ヶ月から対応します。返却時の送料は自己負担となります。詳しくは電話等でふきのとう文庫にお問い合わせください。



—— 布の本テキスト・材料セット価格表 ——

材料セットには作り方説明書を同封しています。

テキスト No	布の絵本	テキスト	材 料 セット	テキスト No	布の絵本	テキスト	材 料 セット	テキスト No	布の絵本	テキスト	材 料 セット
11	かくれんぼだあれ	200円	販売終了	16	まる	200円	3320円	遊具	ジャンケンサイコロ	なし	600円
12	MY BOOK	200円	3320円	17	むし	200円	2230円	遊具	やさいセット(8種)	なし	600円
	このいろなあに		3850円		ちいさいおおきい	200円	3030円	遊具	くだものセット(7種)	なし	500円
13	のりもの	200円	1620円		さかな		1720円		どうぶつとなかよし	なし	1600円
	だれのうち		3320円		わっ!	なし	1720円		おいしいね!	なし	1600円
14	Greeting	200円	3030円		ドレミのうた	なし	5020円		おはな	なし	1600円
	おやつ		1720円	新作	ばあ!	なし	2200円		のりたいな	なし	1600円
15	おかあさん	200円	3030円		どんぐりころころ	なし	4360円		うみのともだち	なし	1600円
	どうぶつ		1820円		おむすびころりん	なし	5560円		とりのなかま	なし	1600円
									どうぶつだいすき	なし	1600円
									とり	なし	1600円



七月十六日(土)から七月二十四日(日)までの九日間、コープさっぽろやまはな店の「トドックステーション」やまはな」でふきのとう文庫とコープさっぽろの協働事業を開催しました。ふきのとう図書館にある絵本や布の本など二〇〇冊以上をトドックステーションやまはなに置かせてもらい、地域の子どもに読んでもらうことを目的としました。このトドックステーションにも通常一〇〇冊以上の絵本が置いてあり、地域の子どもたちが自由に読むことが出来る場であり、ますので、そこにない本を調べ、それをふきのとう図書館から持ってきました。更には、ふきのとう文庫独自の布の本も見られるようにしました。ふきのとう子ども図書館は週に四日開館にしています。中央区の一箇所であり、札幌各地域から来てもらうには時間が掛かったり、交通手段がなかったりすることがあります。そこでコープさっぽろが有している施設を借りて連続して、そこに移動図書館的な空間を作ったのです。休みの日には、おはなしの会も行つて多くの人たちに楽しんで貰いました。コープさっぽろでは市内にここ以外にも多くの施設を持っていて、今後、他のところでも「えほんのひろば」として開催させていただくことが可能となります。コープさっぽろと連携しながら更なる工夫をして、多くの子どもに本と接する機会を増やしていきたいと思つています。

トドック・ふきのとう文庫 えほんのひろば



あとがき

コロナの減少傾向からまた増加に転じている昨今ではあるが、ふきのとう文庫の活動は少しずつ日常を取り戻し、活発化している。それらを継続しつつ、ここにて新たな取り組みも始まった。それは、場所を子ども図書館以外に構えて絵本を読んでもらうという事業であり、今回報告した。今後の取り組みとしても続けることが可能だろう。

子ども図書館は設立から四十周年を迎え記念の催事もあるが、文庫が外に向けて様々な形で発信して、より多くの子どもたちに本を読んでもらうことも考えて行きたい。そのために、執行部に若手の理事の増員を図った。来年度以降、文庫の運営がどんなふうに進んでいくのか内部の人間としても楽しみである。

編集 公益財団法人ふきのとう文庫  
代表理事 高倉 嗣 昌

〒060-0006 札幌市中央区北 6 条西12丁目 8  
☎ 011-222-4839 FAX 011-222-4800  
http://www.fukinotou.org  
E-mail:fukinotoubunko@ceres.ocn.ne.jp  
令和 4 年 7 月10日 発行  
毎月10日発行一部100円(維持会費に含む)

昭和48年 1 月13日 第 3 種郵便物承認  
HSK 通巻604号  
発行人 北海道障害者団体定期刊行物協会  
細 川 久美子

郵便振替 = 02720-3-2300 銀行口座 = 北洋銀行本店営業部普通預金 0035764 公益財団法人ふきのとう文庫

この機関誌は、「北海道共同募金会の配分」により刊行しています。  
維持会員・寄付者のみなさん、ありがとうございました。